

平成29年度指導者研修会報告レポート

- 期日 平成30年2月17、18日（土、日）
- 会場 「邦和セミナープラザ」名古屋市

報告者氏名 菊田茂男

【日本連盟出席者】野際照彰、石川雅利、丹崎健一、北本英幸、篠邊 保、山下晴海、佐藤健司、井上光子、足立真一、菊本泰彰、林 昭文、金岡昭房、安達和紀、小野寺剛、高井志保、落合 護、百町善明、山本 毅、萬 正一、大八木洋子、高田義治

【あいさつ内容】 野際照彰専務理事より平成30年度の事業計画について説明され、その主な点は大会の見直しや、新規大会の検討（ミックス）、ペアのユニフォームの着用基準の検討（色、形状等）、試合経過の配信（情報のスピード化）、中学校3年生に対するソフトテニスの継続対策費の各県への補助の継続などをかいつまんで話された。

なお、今年度は広報活動を充実したものになるよう進め、スピード感のある情報公開に努めていきたい（大会行事、大会組合せの事前公開、大会結果等）。日連もしっかり事業を進めていくので、皆さんの協力をお願いしたい。

【研修内容】

2/17 13:00～14:45 全体会Ⅰ ①H30年度の事業計画・ソフトテニスの現状と課題
②運動部活動の在り方に関するガイドラインについて
15:00～15:45 全体会Ⅱ 実技講習 シングルの指導法について 北本英幸
2/18 9:00～11:00 グループ活動Ⅰ
小中高校の指導者の連携についてをテーマにグループ討議
11:10～12:15 グループ活動Ⅱ
グループ討議発表
12:15～12:30 閉会・解散

【感想】

全体を通し、有意義のある研修であった。特に昨年よりの小中高校の指導者の連携というテーマによるグループ討議では、それぞれの指導者の悩みや現状等が話され指導現場での苦労があることがいまさらながら感じられた。今回、スポーツ庁より部活動に対するガイドラインが出されたが、ソフトテニスの普及の低下につながるのではないかと不安感もある中で、各指導者が学校（中高）と地域がいかに係わっていくかが今後大きな課題になってくる等参加者から意見が出され、本県としても大きな課題になってくるのではと考えさせられた。また、今回は初めて実技講習が組み込まれ指導法を紹介された。実際の指導の中でも十分取り入れられる内容のもので大変わかりやすく有意義なものであった。